



鹿児島県大島郡宇検村湯湾915番地

電話：0997(67)2211番

FAX：0997(67)2262番

発行所：宇検村役場

編集：総務企画課

URL <http://www.uken.net>

Mail soumuk@uken.net

CONTENTS

- P 2～3 成人式・消防出初式
- P 4～6 むらの話題
- P 7 東北福祉大学合宿
- P 8～9 お知らせ
- P 10～11 阿室校の稲作活動
- P 12 村民のうごき



平成22年3月25日午後2時より全面開通した新須古橋。詳細については、次号へ掲載します。

新成人者三十名を盛大に祝う！



一月四日に平成二十二年宇検村成人式が、元気の出る館で行われました。

式は、オープニングで石野田奈津代さんが、久志小中学校の児童生徒と一緒に『I LOVE 宇検村』などの歌を新成人者へプレゼントしてくれました。

その後、新成人者三十名全員による「村民憲章」並びに「はたちの誓い」の朗読がされ、多くの来賓の方々

からお祝いの言葉が述べられました。

余興では、恩師の先生方からお祝いの言葉を頂いたほか、新成人者一人一人が将来の夢や親への感謝の言葉を語ってくれました。

また、村連合青年団からお祝いとして、新成人者の子供の頃の成長過程を編集したビデオが大型スクリーンに映し出されると、昔を懐かしむ声が聞かれました。



久しぶりの再会に笑顔を見せる皆さん



「はたちの誓い」を朗読する新成人者



恩師の先生と一緒に華綾子さん(名柄)



久志校区の新成人者を囲んでの記念撮影のようす



石野田 奈津代さんと久志校の皆さんが歌をプレゼント



代表して謝辞を述べた白間 武則さん

消防団員総勢八十名が集合！

一月六日に行われた平成二十二年宇検村消防出初式は、総勢八十名の団員による役場から陸上競技場へのパレードで始まりました。

当日は、激しい雨の降るあいにくの天気となり、消防操法と一斉放水演習が中止となりましたが、通常点を受けてきました。



30年勤続章を表彰された保池 久團長



規律正しい動きを見せてくれた消防団員



式に花を添えてくれた海洋少年団



宇検村消防団総勢 80 名が役場庁舎へ集合



エフエムうけんの開局



村の声を楽しく届けます！

昨年からの準備が進められていた『エフエムうけん』が、一月四日に開局し、本放送を開始しました。

開局当日は、湯湾集落にあるスタジオ前でテープカットなどの式典があり、午後一時から生放送の開局記念番組が放送されました。

記念番組では、國馬村長や屋宮 喜治理事長が出演したほか、新成人者や寅年の村民の方々などが出演し、電波を通して喜びの声を届けてくれました。



開局記念番組で第一声を届ける國馬村長(右上)と屋宮理事長(右下)



式典でのテープカット



若者の声も届けました。



石野田 奈津代さんが久志校の皆さんと出演。



開局に協力して頂いた多くの方々と一緒に！

自主番組の放送時間

現在は平日5回(朝7時・9時・昼2時・夕方5時・夜8時)と毎週日曜日午後3時~5時まで『エフエムうけん』の自主番組が放送されています。





ネットワーク会議in奄美大島

～宇検村に若者が集った！～

奄美群島では初めての開催となる県内の青年団が集う『ネットワーク会議～奄美世界の旅～』が、2月13日に宇検村元気の出

館で行われました。この会議は県青年団協議会の主催により、毎年行われているもので、今回は奄美の勉強会、並びに、県本土と奄美群島の青年団の交流を目的に開催されました。

会議には、県本土から指宿市・出水市・霧島市・湧水町・曾於市・大崎市・肝属・東串良・錦江町・南種子町の10団体21名と、奄美地区から宇検村・大和村・知名町・和泊町・奄美市の5団体72名が参加し、石原久子さん（湯湾）と米田愛子さん（芦検）の島唄や奄美博物館学芸員の高梨修先生による奄美群島における歴史・文化についての講演、ドッジボールでのスポーツ交流から懇親会まで盛大に行われ、親睦を深めました。

県青年団協議会の副会長を務める保池穂好さん（久志）は、「改めて青年団活動の大切さを学んだ。今後も青年団だからこそできる活動を目指したい。」などと話してくれました。



健康づくり大会で汗を流す！

～雨天のため村体育館でエアロビクス運動～

3月7日に村健康づくり完走歩大会が、村体育館で開催されました。当日は、時折激しい雨の降るあいにくの天気となり、ジョギングやウォーキングの種目をエアロビクス運動へと変更しての大会となりました。

大会へは、村民や合宿中であった東北福祉大学陸上部の学生など約250名が参加し、アーククラブの山中康巨さんの指導のもと、40分間のエアロビクス運動で汗を流しました。

山中さんは、音楽に合わせて40分間楽しく体を動かせるようにメニューを組み、参加者もリズムに乗って楽しみながら行っている様子でした。

大会後はお楽しみ抽選会や、村内の女性団体、NPO法人うけん MareMare、滝の園による農産物加工品などの販売も行われ賑わいました。また、住用町の飲料会社がミネラルウォーターを無料配布し、参加者に喜んでいただきました。



バザーを楽しむ東北福祉大の学生



ハイビスカス六百本の植樹作業に汗を流す参加者の皆さん

ハイビスカスの植樹
苗木六百本を植える
三月十八日に、役員職員と村議会議員に加え、集落区長、民生委員など約七十名が参加し、赤土山ハイビスカスロードへハイビスカスの苗木六百本の植栽が行われました。龍郷町の量販店ビックIIより提供を頂いた苗木六百本を参加者全員で、午前中に約二時間掛かり植えることが出来ました。平日にもかかわらず多くの方に参加して頂き、有り難うございました。ハイビスカスロードが真っ赤な花で彩られるのが楽しみです。

Uken Village Topics



わきやしま しゅん わだい 宇検村の旬な話題

*このコーナーでは、宇検村内の旬な出来事をご紹介します。みなさんの周りにもあるめずらしいことなど、情報をお待ちしています。

宇検村役場 総務企画課 広報係 ☎0997-67-2211



11チームが二日間にわたり熱戦を繰り広げた

第4回 開運酒造杯を開催

～全日本女子の眞鍋監督が来村～

1月16日と17日の二日間にわたり、第4回奄美大島開運酒造杯中学女子バレーボール大会（株式会社 奄美大島開運酒造 主催）が村総合体育館と田検中学校体育館で開催されました。

民間が開催する今大会の特徴は、初日の予選リーグから二日目のブロック別リンク戦と、参加全チームが二日間で5試合以上をこなすよう日程を組んでおり、出場する選手は多くの試合経験を積むことが出来ます。

大会へは、奄美大島内の11チームが出場し、朝日中女子が見事優勝。本村から出場した田検中女子は5位の成績でした。

また、大会に先駆け14日には、全日本女子バレーチームの眞鍋政義監督のバレー教室が行われ、トップの指導者による教室で、参加者は大変貴重な経験をする事ができました。



熱心に指導をする眞鍋政義監督



授業が終わった後、児童に囲まれ質問を受ける青年海外協力隊OBの三井直子さん

協力隊OBの方を講師に授業

～田検小学校の児童が世界について学ぶ～

2月9日に田検小学校にて、青年海外協力隊OBで二年間モルディブで協力活動の経験がある三井直子さん（龍郷町在住）による授業が行われました。

これは、県の青年海外協力隊OB会や協力隊を支援する会などが主催となり行っている『留学生と協力隊OBが先生～見える・学べる・世界の国々～』事業として実施されたものです。

授業では始めに、三井さんが隊員になった動機や、派遣国モルディブでの生活、活動内容についてなどスクリーンに写真を写しながら話してくれました。また、児童からの多くの質問に丁寧に答えていました。

次に、モルディブの郷土料理『ロッシ』を児童と作り、給食時間に試食をしながら交流を深めました。三井さんは「世界を知るきっかけになってほしい。」と話してくれました。



モルディブの郷土料理作りを体験

陸上競技部

暖かい気候のなか練習をこなす！



駅伝大会は男女混合の4チームで競いました。約40kmの距離を各チーム5名の選手が一本のタスキで繋ぎました。

陸上 競技部は、監督選手総勢約八十名が二月下旬から三月中旬の二週間、宇検村を中心に奄美大島で合宿を張りりました。今年で四年目となる陸上競技部は駅伝や中距離、短距離や棒高跳びなど、さまざまな競技の選手が、それぞれの練習メニューをこなしていました。合宿中の三月七日には、健康づくり大会へ参加し、村民と一緒にエアロビクス運動で汗を流すなど、地域との交流も行いました。また、九日に開催された毎年恒例となっている駅伝大会では、高レベルな走りを見ることが出来ました。



エフエムうけでの収録の様子。各競技の代表者が陸上競技への思いや、関係者への感謝の気持ち、今後の夢などを語りました。



健康づくり大会で体を動かす選手の皆さん。抽選会やバザーも楽しみ、厳しい合宿中に良い気分転換をすることが出来ました。



東北福祉大学が4度目の宇検村合宿を実施

4月から始まる大会へ向けチーム作りを！

同大学ハンド部は昨年、第五十二回全日本学生ハンドボール大会へ出場し、二回戦へ進みベスト16に入るなど、宇検村合宿での成果を上げています。合宿での共同生活を通して、チームの結束を図り、走り込みなどの体力づくりや、守りを中心とした基本練習を行い、シーズンへ向けたチームとしての戦略を型にしていきました。

ハンド部



ハンド部で制作したTシャツには、『でい きばるー』の島言葉がプリントされています。

ハンドボール部は、三度目の宇検村合宿となり、今回はレギュラー五名がいた四年生が引退したため、四月からの大会へ向け新しいチーム作りを一番の目的に行いました。



合宿の集大成である紅白戦の様子。合宿で練習してきたことを一つ一つ確認しながら、試合を行っていました。



今年も奄美市の中高生の為にハンドボール教室を開いてくれました。技術に対する色々な質問に対し、丁寧に答えていました。

第1回ケンムンキッズフェスタ

～ケンムンを通して島を見つめ直す～



『第一回ケンムンキッズフェスタ in 宇検村』が、3月6日に村元気の出る館で開催されました。

実行委員会は、宇検村、村教育委員会、村連合青年団有志、民間企業などで構成され、このイベントは、子供たちがケンムンを通して地域を見つめ直すことで、奄美大島（宇検村）に生まれた喜びを再確認してもらい、故郷や家族、そこに住む人々に感謝する心を育ててほしいという願いから取り組んだものです。イベントでは、龍郷町の龍瀬小学校と宇検村の久志小中学校が、それぞれケンムンについて調べたことを発表しました。

龍瀬小6年生の6人は「君はケンムンを見たか」をテーマに、約100名への聞き込みによりケンムンが活動する時間や、生息場所などを調査した結果を発表し、環境の変化からケンムンが住みにくい状況になっていると指摘し、ケンムンと共生するために「省エネ」や、「自然を大切にしましょう。」などと呼び掛けました。

冬休みに集落で聞き取り調査をした久志小5年生の5人は「宇検村のケンムンの特徴」として「身長は子どもくらい。」「胴体は短く足が長い」「好物は魚の目と貝」など多くの情報と共に、ケンムンをイラストで表現し発表しました。

また、ケンムン村の中山 清美村長（奄美博物館館長）による講話や開運太鼓の皆さんによる演舞、中村瑞希さんの島唄ライブも行われ、多彩な内容に来場した約200人の観客はイベントを最後まで楽しんでいました。4月からは、ケンムンキッズクラブを発足し、活動を展開していきます。



中村さんとI LOVE 宇検村を合唱

フットサルリーグC級準優勝

～フットサルチーム『宇検 Volcano』～



フットサルを楽しむ宇検 Volcano の皆さん

宇検村の20代の若者を中心に結成された『宇検 Volcano』が、平成21年度奄美フットサルリーグC級の部で準優勝に輝きました。

4月から始まる平成22年度の同大会は、一部と二部の2リーグ制となり、『宇検 Volcano』は一部へ出場することが決定しています。

フットサルは5人で行うミニサッカー競技で、『宇検 Volcano』は平成20年1月に結成されたばかりの新しいチームです。現在16名が所属しており、毎月2回村の総合体育館で練習を行っており、今シーズンは14チームが出場する一部で上位を目指します。

主将の山下 友人さん（生勝）は、「今年度は一部リーグへ出場しますが、結成当時と変わらずサッカーを楽しみたいと思います。楽しんだ結果、良い成績が残せたらうれしいです。」と話してくれました。チームでは新メンバーも募集しているそうです。練習は基本的に毎月第1・3木曜夜8時に村総合体育館で行っています。興味のある方は、足を運んでみて下さい。